



なから 俵めぐみさん

(上川西2区)

昭和49年7月15日生

【長門文化協会】

※仕事は 今年の4月から協会職員として、みすゞ館内で働いています。7月半ばまでは、観光協会の方と一緒にいたので心強かったが、今では一人なので少し不安。ここに来られた方からみすゞさんのことや市内の観光地などを聞かれるので、もっと勉強しなくては。お客さんは県外の人が多く、若い人は女性が多い。また年輩の方はご夫婦で来られるのか男女同じぐらい。それから、文化講演会のお手伝いもしています。今年はたくさんの著名な方の講演会が開催され、花束を渡すことができ感激です。特に内館牧子さんから声を掛けられた時は声もでないくらい緊張してしまいました。

※趣味は 音楽鑑賞。ロック系の激しい音楽が好き。それからドライブ。小倉へ買い物にも行きます。高速道路を走るのが好きなんです。

※好きな言葉は ありふれていますが「初心忘るべからず」。だんだん慣れてくると横着になって来るので、そんなとき思い出そうにしたい。※気をつけていることは お客様に笑顔で対応すること。折角みすゞさんのやさしい心を育てた仙崎に来られたのだから、いい思い出を持って帰っていただきたい。

※結婚は 縁のもので、時期が来ればしたいと思うかも。

※どんな街を 青海島を大切にしたい。自然がいっぱいでほかの街にないものがたくさんあるのでこれからも自然を大切にする街であって欲しい。

※自由に一言 「みすゞ館」の位置がわかる案内板があるといい。是非、みすゞ館に立ち寄って下さい。待っています。

“人権が尊重される社会を”
ミス長門が街頭啓発



人権週間(12月4日〜10日)期間中の5日、ミス長門(飯田真由美さん、安富ゆかりさん)を一日人権擁護委員に委嘱し、ウェーブ前とフジ長門店前で街頭啓発が行われました。

ミス長門のほか、人権擁護委員、法務局職員、市職員も参加し、市民に人権に関するパンフレットやティッシュを配りながら、人権意識の普及高揚を呼びかけました。

「のみの市」収益金を寄付
JR長門鉄道部



JR長門鉄道部は、11月9日に開催したJR10周年記念感謝祭での「のみの市」の収益金を県共同募金会に寄付しました。
笹木長門鉄道部長が11月28日市役所を訪れ、県共同募金会長を務める藤田市長に「社会福祉に役立ててください」と収益金を贈りました。

あしがれの地



北海道岩見沢市

阿部和子 さん

山口県は一度も行ったことがないうえ、場所も定かにわからないが、ぜひ訪ねてみたい土地なのだ。それは《金子みすゞ》さんが生まれた所だから。

私をはじめて出会った詩は『大漁』だった。「海のなかでは何万の鰻のとむらいするだろう」ということばにズシンときた。

それからいくつもの詩を読んできくうちに、できたての、あたたかいスープを飲んだようなほっこりした気持ちになり、どんどん好きになった。

教師をしている頃に出会ったかったと心底思った。きつと、子どもの目を優しく見つめる先生になれたらうに。

そして今、長門市は私が旅をしたい土地になったのである。